

◆研究集会（研究期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日）
（全国の研究者が地震・火山関連分野のテーマについて集中的に討議する研究会）

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催日	報告書
1	2017-W-01	熊谷 一郎	明星大学・理工学部	市原 美恵	ネオ・キッチン地球科学：教養教育のための「考える地学実験」とは？	平成29年8月1日	報告書
2	2017-W-02	栗田 敬	東京大学・地震研究所	森田 裕一	伊豆大島・三宅島火山噴火、過去の事例から将来への展望	平成29年12月25・26日	報告書
3	2017-W-03	鈴木 雄治郎	東京大学・地震研究所	鈴木 雄治郎	火山現象のダイナミクス・素過程研究	平成30年2月13日	報告書
4	2017-W-04	高田 陽一郎	北海道大学・大学院理学研究院	青木 陽介	地表変動メカニズムの解明に向けた新世代SARの活用	平成29年12月18～20日	報告書
5	2017-W-05	高橋 努	海洋研究開発機構・地震津波海域観測研究開発センター	古村 孝志	海洋－固体地球システムにおける波動現象と構造不均質性	平成29年9月26・27日	報告書
6	2017-W-06	戸谷 友則	東京大学・大学院理学研究科	大久保 修平	地震・火山現象を含む学校地学教育の現状とそのイノベーション	平成29年11月11・12日	報告書
7	2017-W-07	廣瀬 仁	神戸大学・都市安全研究センター	小原 一成 加藤 愛太郎	スロー地震の発生メカニズムを探る：観測・調査・実験・理論・モデリングからの情報の統合化と巨大地震との関連性の解明を目指して	平成29年9月19～21日	報告書
8	2017-W-08	堀 高峰	海洋研究開発機構・地震津波海域観測研究開発センター	波多野 恭弘	数値・室内実験と観測データから探る地震活動の物理	平成30年2月19日	報告書
9	2017-W-09	森下 知晃	金沢大学・理工研究域	山野 誠	海溝海側で生じる過程総合研究：沈み込み帯インプットの実態解明に向けて	平成30年3月26・27日	報告書
10	2017-W-10	山口 覚	大阪市立大学・大学院理学研究科	上嶋 誠	地球内部電磁気現象研究の学際的研究分野への展開	平成30年1月9・10日	報告書
11	2017-W-11	山田 真澄	京都大学・防災研究所	鶴岡 弘	地震のリアルタイムモニタリングと予測情報の利活用	平成30年1月11・12日	報告書

※注 研究組織の所属、研究集会名等は、申請時と異なっている場合があります。